

私の履歴書

釜本 邦茂

②④

さんは電通の西郷隆美さんから仲間と語らい、引退試合の実に猛然と動き始めた。

監督業に専念することになったのに1984年の日本サッカーリーグ(JSL)のポスターには私のヌード写真が使われた。「格闘技宣言」のコピー付き。JSL事務局長の木之本興三がJSL創設20周年事業として博報堂の笠原伸介氏、岡本純氏らとひねり出したアイデアだった。

前半16分最後のゴール

ペレの肩車でサヨナラ・ラン

も84年の開幕前後に広告展開されると反響は上々。一肌脱いで良かったと安心した。

計画は私とゆかりのある王様ペレと皇帝ベッケンバウアーにヤンマーのユニホームを着せ、JSL選抜と戦う途方

ギリシャ彫刻のような絵を見せられ、「釜本さん以外はあり得ない」と迫る木之本の若い情熱に負けた。撮影日は私の希望で天皇杯直後の1月4日になった。最後の試合に向けて仕上げた体なら見苦しいことはないだろうと。

8月25日には東京・国立競技場を超過員にする盛大な引退試合をしてもらった。発端は前年の11月14日にかけた電話だ。テレビ東京の伝説の番組「三菱ダイヤモンドサッカー」で長年アナウンスを担当した旧知の金子勝彦さんに引退を告げたのだ。すると金子

残念だったのはオランダのクライフの不参加。世界選抜の一員でバルセロナと慈善試合をした時、パーティーでもロッカーでも一番私を気にかけてくれたのがクライフだった。本人は出る気でしたが条件が合わず見送られた。



筆者④の引退試合にはペレ⑥とオベラート⑤も駆けつけた

「こんな素晴らしい引退試合をやってもらえる選手はプロでもないな」とペレにいわれた。

実は金子さんが引退試合の話をも日本サッカー協会に持ち込んだら、専務理事だった長沼健さんは最初難色を示した。そう、メキシコ五輪銅メダルは全員で取ったもの。釜本だけ特別扱いできない。どうしてもというのなら杉山隆一の考えも聞けと。金子さんが